

トレーニング指導者養成校・養成機関科目対応表(記入例)

様式3

1. 一般科目

学校名: 記入例

No.1

領域	科目名	科目の内容に関する補足事項	対応する科目または講習科目(複数記載可) ※2科目以上の履修を必須とする場合には当該科目を()で囲む
A. 体力学総論	体力学総論	体力の概念、運動の有益性に関する内容を含む	体力学、トレーニング理論
B. 機能解剖	機能解剖(1)上肢		解剖学、機能解剖学
	機能解剖(2)脊柱と胸郭		解剖学、機能解剖学
	機能解剖(3)骨盤と下肢		解剖学、機能解剖学
C. バイオメカニクス	バイオメカニクス(1)基礎理論		(バイオメカニクス、身体運動学)
	バイオメカニクス(2)スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス		(バイオメカニクス、身体運動学)
D. 運動生理学	運動生理学(1)呼吸循環器系・エネルギー代謝と運動		生理学、(運動生理学、運動生化学)
	運動生理学(2)骨格筋系・神経系・内分泌系と運動		生理学、(運動生理学、運動生化学)
E. 運動と栄養	運動と栄養(1)基礎理論	各種栄養素、摂取エネルギー及び消費エネルギーの定量法等に関する内容を含む	スポーツ栄養学、栄養学
	運動と栄養(2)スポーツ選手の競技力向上と栄養		スポーツ栄養学、栄養学
	運動と栄養(3)一般人の健康増進と栄養	生活習慣病の予防、肥満対策等に関する内容を含む	スポーツ栄養学、栄養学
F. 運動と心理	運動と心理(1)基礎理論		スポーツ心理学、心理学
	運動と心理(2)スポーツ選手の競技力向上への活用		スポーツ心理学、心理学
	運動と心理(3)一般人の健康増進への活用		スポーツ心理学、心理学
G. 運動と医学	運動と医学(1)救急処置法	心肺蘇生法に関する内容を含む	(救急処置法、スポーツ医学)
	運動と医学(2)スポーツ選手の整形外科的傷害と予防		スポーツ医学
	運動と医学(3)生活習慣病とその予防		スポーツ医学、病理学、成人保健学
H. 運動指導の科学	運動指導の科学	運動学習理論、コーチング理論に関する内容を含む	(体育科教育法、コーチング理論)

対応科目について: 括弧【例:(授業A、授業B、～)】で囲まれている科目は、該当する全てを履修することで受験要件を満たすこととします。
括弧を付けずに複数科目が記載されている場合【例:授業A、授業B】には、いずれか1科目を履修することで受験要件を満たすこととします。

2. 専門科目

学校名： 記入例

No.2

領域	科目名	科目の内容に関する補足事項	対応する科目または講習科目(複数記載可) ※2科目以上の履修を必須とする場合には当該科目を()で囲む
A. トレーニング指導者論	トレーニング指導者の役割		運動指導論、運動処方論、運動教授法
B. 各種トレーニング法の理論とプログラム	トレーニング計画の立案(総論)	トレーニングの長期計画の作成とプログラムの期分け、目的・対象別トレーニング計画に関する内容を含む	運動処方論、トレーニング論
	筋力トレーニングのプログラム作成		(トレーニング論、運動処方論)
	パワー向上トレーニングの理論とプログラム作成		(トレーニング論、運動処方論)
	有酸素性及び無酸素性持久力向上トレーニングの理論とプログラム作成		(トレーニング論、運動処方論)
	スピード向上トレーニングの理論とプログラム作成		(トレーニング論、運動処方論)
	ウォームアップとクールダウン・柔軟性向上トレーニングの理論とプログラム作成		(トレーニング論、運動処方論)
	特別な対象のためのトレーニングとプログラム	生活習慣病のリスクがある人、高齢者、子どもなどを対象としたトレーニング法に関する内容を含む	(トレーニング論、運動処方論)
	傷害の受傷から復帰までのトレーニングとプログラム		リハビリテーション論、スポーツ医学
C. 各種トレーニング法の実際	筋力トレーニングの実際	実習を伴う内容であることが必要	トレーニング実習
	パワー向上トレーニングの実際	実習を伴う内容であることが必要(プライオメトリックトレーニング、クイックリフト(クリーン等)の実技に関する内容を含む)	トレーニング実習
	有酸素性及び無酸素性持久力向上トレーニングの実際	実習を伴う内容であることが必要	トレーニング実習
	スピード向上トレーニングの実際	実習を伴う内容であることが必要	トレーニング実習
	ウォームアップとクールダウン・柔軟性向上トレーニングの実際	実習を伴う内容であることが必要(ストレッチングの実技に関する内容を含む)	トレーニング実習
	D. トレーニング効果の測定と評価	トレーニング効果の測定と評価の実際	
測定データの活用とフィードバックの実際		統計処理法に関する内容を含む	測定評価論、体力測定実習、統計学
E. トレーニングの運営と情報活用	トレーニングの運営	トレーニング施設の管理・運営、リスクマネジメントに関する内容を含む	(運動指導論、体育施設運営論)、スポーツ法学
	運動指導のための情報収集と活用		(運動指導論、スポーツ情報処理、統計学)

対応科目について： 括弧【例：(授業A、授業B、～)】で囲まれている科目は、該当する全てを履修することで受験要件を満たすこととします。
括弧を付けずに複数科目が記載されている場合【例：授業A、授業B】には、いずれか1科目を履修することで受験要件を満たすこととします。